Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
（1月1日〜1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDI-J303-XXX　XXXXXXX PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL 810 IS カメラユーザーガイド 応用編

Canon

キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL 810 IS

応用編

カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DIGIC III

BUBBLE JET DIRECT

主な特長

撮影

- シーンに合わせて撮影条件を自動設定（スペシャルシーンモード）
- 手ぶれ補正機能でぶれを少なく撮影
- 高感度ISO設定やISOブースターで手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- 人物の撮影に最適な顔優先 AF
- SI センサーでカメラの縦横位置を自動的に判別

再生

- カテゴリーに分けて画像を管理
- 音声つき動画再生
- スライドショーで自動再生

編集

- 赤目を補正
- 静止画に色効果をつけるレタッチマイカラー
- 静止画に音声メモを記録
- 音声のみを記録（サウンドレコーダー）

印刷

- イージーダイレクトボタンで簡単印刷
- キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでも印刷可能

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- マイカメラ機能で、カメラの起動画面や起動音を、自在にカスタマイズ
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について

見出しの横または下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。

モードダイヤル

L判プリントモードに設定する

・グレー表示の撮影モードでは操作できません。

・ は、 と をまとめて表示しています。

● 巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

再生 / 消去する 76

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプター（別売）
- バッテリー：バッテリーパック

警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

・撮像素子（CCD）が損傷する場合があります。

・視力障害の原因となります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず、バッテリーを外すか、バッテリーチャージャー、あるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。

バッテリー

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●バッテリーを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

●レンズの先端を強く押したり、ぶつけたりしないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、バッテリーを取り出し、保存してください。

カメラに、バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動､破壊を防ぐために

●**カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。**

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●**カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。**

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

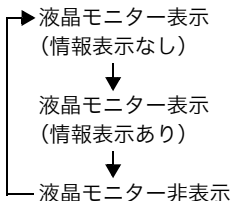
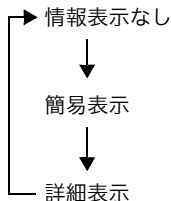
結露が発生したときは

●**カメラを使用しないでください。**

故障の原因になります。
カメラを使う場合は､メモリーカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

液晶モニターの使いかた

1 DISP. を押す

●DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

●撮影の設定を変更したときは、液晶モニターの設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- 、のとき、液晶モニターは消せません。
- 、、、、、のとき、液晶モニターは常に［情報表示あり］に設定されます。
- 拡大表示時（p.76）、インデックス再生時（p.77）は、詳細表示に切り換わりません。

時計を表示する

現在の日付と時刻を5秒間*表示する方法が、2 通りあります。

＊初期設定

①FUNC./SET ボタンを押しながら、電源を入れる

②撮影 / 再生モード時に FUNC./SET ボタンを 1 秒以上押す

カメラを横にすると時計を表示し、縦にすると時計 / 日付を表示します。なお、カメラを縦にして①の方法で時計を表示した場合、初めは、カメラを横にしたときと同じように表示されます。

・時計の表示中に ◆/◆ ボタンを押すと、表示色を変更できます。
・時計の表示時間が経過するか、次の操作のためにボタン操作をすると時計表示が終了します。
・時計の表示時間は、［ (設定)］メニューで変更できます（p.27）。
・拡大表示時（p.76）、インデックス再生時（p.77）は、時計は表示できません。

液晶モニターの明るさについて

液晶モニターの明るさの変更方法

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する****（p.26）**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**

  DISP.ボタンを1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。

  - 元の明るさに戻すとき ：再度、DISP.ボタンを1 秒以上押す
  - 次回電源を入れたとき ：設定メニューで選択されている明るさで表示される

＊すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも構図を決めやすくなります。

＊液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

撮影モード（p.35、p.38、p.42、p.47、p.61、p.62、基本編 p.12 ～ p.13）

露出補正（p.53）

長秒時撮影（p.54）

ホワイトバランス（p.55）

マイカラー（p.58）

測光方式（p.52）

圧縮率（静止画）（p.30）

フレームレート（動画）（p.45）

撮影間隔（動画）（p.46）

記録画素数（p.30、p.46）

（赤） 手ぶれ警告（p.114）

露出シフトバー（動画）（p.45）

*1シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが自動的に最適条件に再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。

*2 ボタンに動画機能を登録したときは、と も表示されます（動画モード時を除く）。

- ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。
  - 手ぶれ補正を［切］以外に設定する（p.31）
  - ISO 感度を上げる（p.65）
  - ISO ブースターを［入］に設定する（p.66）
  - ストロボを（発光禁止）以外に設定する（基本編 p.14）
  - 三脚などでカメラを固定する

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

■詳細表示

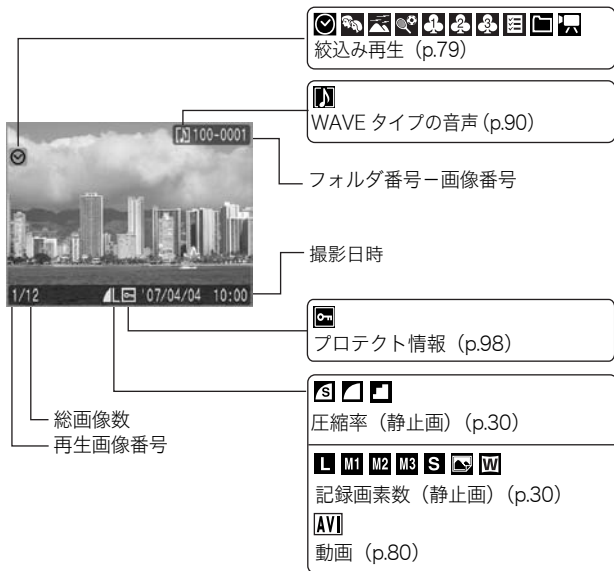
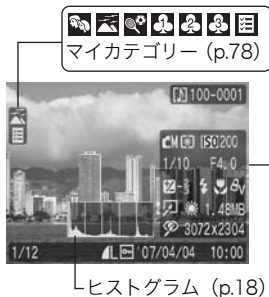
マイカテゴリー（p.78）

ヒストグラム（p.18）

露出補正（p.53）

ストロボ（基本編 p.14）

マクロ / 遠景モード（基本編 p.15）

マイカラー（p.58）、ワンポイントカラー / スイッチカラー（p.60）

レタッチマイカラー（p.88）

赤目補正（p.85）/ レタッチマイカラーの画像（p.88）

ホワイトバランス（p.55）

ファイルサイズ

赤目補正（p.85）

記録画素数（静止画）（p.30）
記録時間（動画）（p.42）

撮影モード（p.35、p.38、p.42、p.47、p.61、p.62、基本編 p.11 ～ p.13）

測光方式（p.52）

ISO 80 ･･･ ISO 1600 ISO 感度（p.65）

記録画素数 / フレームレート（動画）（p.45）

シャッタースピード
インターバル（p.46）

絞り数値

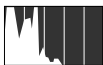
画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

アイコン	説明
♪?	WAVEタイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
▲	DCF（p.137）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

- 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します(p.53)。

ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし（p.12)、ファインダー（基本編 p.1）を使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。

次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約 1 分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。(電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます。)
再生時 **プリンター接続時**	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

＊時間を変更できます。

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p.27)。

世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付/時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅/訪問先のエリアを設定する

1 (設定)メニュー▶[エリア設定]▶(FUNC./SET)

メニュー操作（p.23）

2 (自宅)▶(FUNC./SET)

3 ←/→ボタンで自宅エリアを選ぶ▶(FUNC./SET)

- サマータイムを設定する場合は、↑/↓ボタンで☀を選び、設定します。時刻は1時間プラスされます。
- タッチホイールでもエリアを選べます。

4

5 ←/→ ボタンで訪問先エリアを選ぶ ▶ (FUNC. SET)

- 手順 3 と同様に、サマータイムを設定できます。また、タッチホイールでもエリアを選べます。

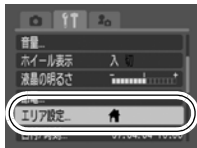
自宅エリアからの時差

6 ↑ ボタンで[自宅/訪問先]を選び、←/→ ボタンで 🏠 を選ぶ ▶ (MENU)

訪問先の日付に切り換える

1 (設定)メニュー▶[エリア設定]▶(FUNC./SET)

メニュー操作(p.23)

2 ←/→ボタンでを選ぶ▶(MENU)

- 訪問先のエリアを変更する場合は、FUNC./SETボタンを押します。
- 訪問先の日付に切り換えると、液晶モニターにが表示されます。

- 訪問先が選択されているときに、日付/時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

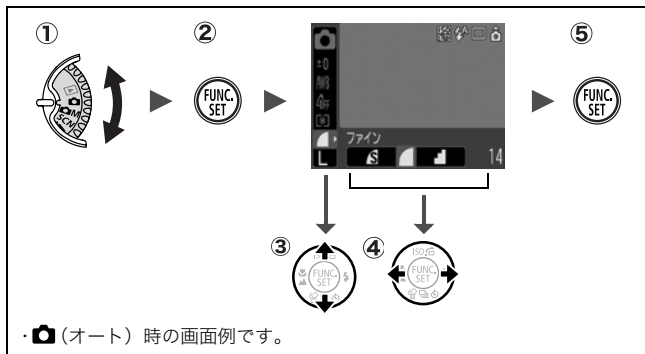
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- **FUNC. メニュー**
- **撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー**

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・(オート) 時の画面例です。

① モードダイヤルを、M、SCNまたはにする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ←/→ボタンで設定内容を選ぶ

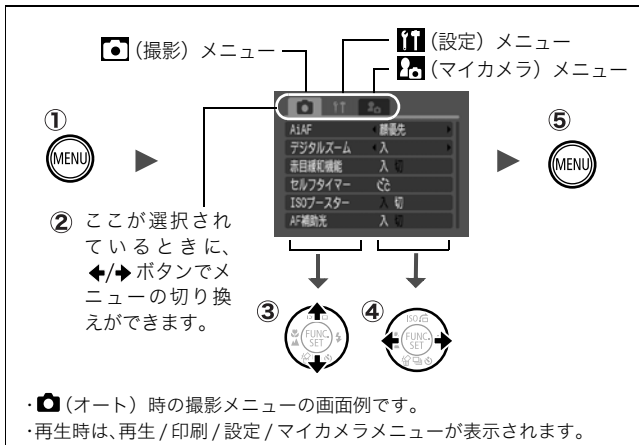
・タッチホイールでも選べます。

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・タッチホイールでも選べます。

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ ボタンで設定内容を選ぶ

・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

	項目	参照先
	マニュアルモード	基本編p.12
	スペシャルシーンモード	p.38 基本編p.12
	動画撮影モード	p.42
±0	露出補正	p.53
1"	長秒時撮影	p.54
AWB	ホワイトバランス	p.55

	項目	参照先
OFF	マイカラー	p.58
	測光方式	p.52
	圧縮率（静止画）	p.30
30	フレームレート（動画）	p.45
1"	撮影間隔（動画）	p.46
L	記録画素数（静止画）	p.30
640	記録画素数（動画）	p.45

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AiAF	顔優先＊ / 入 / 切	p.48
デジタルズーム		p.33
（静止画）	入＊ / 切 / テレコン 1.6x/ テレコン 2.0x	
（動画）	入＊ / 切（スタンダードのみ）	
スローシンクロ	入 / 切＊	p.36
赤目緩和機能	入＊ / 切	p.36
セルフタイマー	時間：0 ～ 10＊、15、20、30 秒 枚数：1 ～ 3＊～ 10 枚	基本編 p.16
ISO ブースター	入 / 切＊	p.66
AF 補助光	入＊ / 切	p.116
撮影の確認	切 /2 秒＊～ 10 秒 / ホールド	基本編 p.11
オリジナル保存	入 / 切＊	p.64
自動カテゴリー	入＊ / 切	撮影時、自動でカテゴリーに分類するかどうかを設定します。＊[1]

撮影ガイド		p.41
（静止画）	切* / グリッドライン / 3:2 ガイド / 両方	
（動画）	切* / グリッドライン	
手ぶれ補正	入* / 撮影時 / 流し撮り / 切	p.31
日付写し込み	切* / 日付のみ / 日付＋時刻	p.40
ボタン機能登録	* / / / / / / / /	p.67

*1 次のカテゴリーに分類されます。

- ・（人物）：、、、または AiAF で［顔優先］を選択し、顔が検知された画像
- ・（風景）：、
- ・（イベント）：、、、、、

再生メニュー

項目	参照先
スライドショー	p.93
マイカテゴリー	p.78
消去	p.101
プロテクト	p.98
赤目補正	p.85
レタッチマイカラー	p.88
音声メモ	p.90
サウンドレコーダー	p.92
回転	p.83
送信指定	p.107
再生効果	p.84

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p.103
印刷する画像を指定	
日付で指定	
マイカテゴリーで指定	
フォルダで指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	[入]にすると、警告音以外はすべて鳴りません(基本編p.10)。
音量	切 / 1 / 2＊/ 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音] が [入] になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンやタッチホイールを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモまたはサウンドレコーダーの音量を調節します。
ホイール表示	入＊ / 切	タッチホイールに触れたとき、液晶モニターにタッチホイールの拡大図を表示するかどうかを設定します（基本編 p.4）。
液晶の明るさ	－7～0＊～＋7	←/→ ボタンで液晶モニターの明るさを調整します。 液晶モニター表示時は、画像の明るさを確認しながら調整できます。

節電		p.18
オートパワーオフ	入* / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10 秒 /20 秒 /30 秒 / 1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
エリア設定	自宅* / 訪問先	p.19
日付／時刻		基本編 p.9
時計表示	0 ～ 5 *～ 10 秒 / 20 秒 /30 秒 / 1 分 /2 分 /3 分	p.13
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます（p.29）。
画像番号	通し番号* / オートリセット	p.74
フォルダ作成		p.72
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動作成する時間も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p.69
レンズ収納時間	1 分* /0 秒	撮影モードから再生モードに切り換えたときの、レンズの収納タイミングを設定します。
言語		基本編 p.9
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p.134
印刷接続方式	自動* /	下記参照*1
初期設定		p.28

*1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは を選択してください。
この設定は電源を切っても記憶されますので、W（ワイド）以外の画像サイズを印刷するときは、［自動］に戻してください（ただし、プリンター接続中は変更できません）。

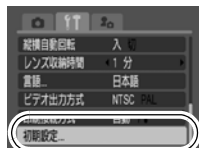
マイカメラメニュー

＊初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p.109
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の2秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます（動画撮影時には鳴りません）。	
設定内容	（切）/ 1 * / 2 / 3	

設定を初期状態に戻す

1 （設定）メニュー▶［初期設定］

メニュー操作（p.23）

2 ［OK］を選び、（FUNC. SET）を押す

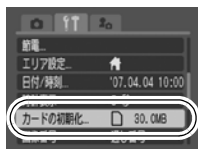
- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［（設定）］メニューの［エリア設定］、［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p.27）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p.56）
  - ［ワンポイントカラー］（p.61）と［スイッチカラー］（p.62）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p.110）

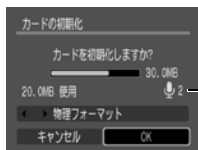
メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

- 初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 🎙のアイコンが画面に表示されているときは、サウンドレコーダーのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

1 (設定)メニュー▶[カードの初期化]

メニュー操作（p.23）

2 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

- 物理フォーマットをする場合は、▲ボタンで[物理フォーマット]を選び、◀/▶ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にFUNC./SETボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

サウンドレコーダーのデータ（p.92）がある場合に表示されます。

- 物理フォーマットについて
  メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 〜 3 分かかる場合があります。

撮影する

撮影モードや FUNC. メニューの選択には、タッチホイールを使うこともできます（基本編 p.4）。

記録画素数と圧縮率を変更する（静止画）

1 FUNC.メニュー ▶ *（圧縮率）/ L *（記録画素数）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで圧縮率/記録画素数を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数			用途
L ラージ	3264 × 2448 画素	大きい	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	2592 × 1944 画素	↑	A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	2048 × 1536 画素	↕	A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	1600 × 1200 画素	↕	L判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素	↓ 小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
* * L判プリント	1600 × 1200 画素	L判やはがきサイズに印刷するとき(p.40)。画像に日付を写し込むこともできます。	
W * ワイド	3264 × 1832 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16：9 の画像を確認でき、記録されない領域は、液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	

＊ と では設定できません。

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量（目安）（p.143）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p.141）

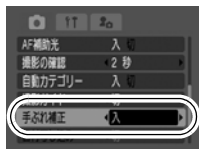
手ぶれ補正を設定する

レンズシフト式手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光しないで撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

	入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
	撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。［入］に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。では設定できません。
	流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。では設定できません。

1 （撮影）メニュー ▶［手ぶれ補正］▶［入］*/［撮影時］/［流し撮り］/［切］

メニュー操作（p.23）

＊初期設定

- シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ［流し撮り］は、カメラを横に構えてお使いください（カメラを縦に構えると補正を行いません）。
- は、［撮影時］に固定されます。
- ［撮影時］または［流し撮り］に設定後、動画を撮影する場合は［入］に設定変更されます。

デジタルズーム/デジタルテレコンで撮る

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

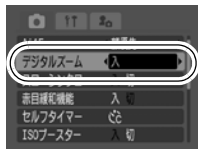
選択項目	焦点距離	特長
入	35～560mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約 16 倍に拡大して撮影できます。
切	35～140mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン 1.6x	56～224mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。同じ画角の撮影では、［入］や［切］のときに比べ､より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン 2.0x	70～280mm	

- 液晶モニターが消えているときは、設定できません。
- (L 判プリント)、(ワイド) のときは、設定できません。
- では、［テレコン 1.6x］、［テレコン 2.0x］の設定はできません。

1 (撮影)メニュー▶[デジタルズーム]▶[入]*/[切]/[テレコン1.6x]/[テレコン2.0x]

メニュー操作（p.23）

＊初期設定

- ［入］のとき
「デジタルズームで撮る」をご覧ください。
- ［テレコン1.6x］/［テレコン2.0x］のとき
「デジタルテレコンで撮る」をご覧ください。

デジタルズームで撮る

2　ズームレバーを[♠]側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 設定された記録画素数に応じて、画質が粗くならない最大のズーム倍率でいったん停止し（セーフティズーム）、液晶モニターに[◀▶]が表示されます。再度、[♠]側へ押すと、さらに拡大できます（このときズーム倍率の表示が白色から青色に変わります）。
- [♠♠♠]側へ押すと、倍率が下がります。

デジタルテレコンで撮る

2　ズームレバーで画角を調節し、撮影する

- 液晶モニターに[T]と倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画質が粗くなります（[T]と倍率が青色で表示されます）。

デジタルテレコンについて

デジタルズームを使って、テレコンバーター（望遠撮影するためのレンズ）の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

至近距離で拡大して撮る（デジタルマクロ）

レンズ先端から被写体までの距離が2〜50cmのときに使います（ワイド端固定）。デジタルズームの倍率が最大（約 4.0 倍）のときの撮影範囲は、7.5 × 5.5mm です。

1 FUNC.メニュー▶ *（マニュアル）▶ （デジタルマクロ）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

2 ズームレバーで画角を決め、撮影する

- 液晶モニターに拡大した倍率が表示されます。
- 設定された記録画素数に応じて、画質が粗くならない最大のズーム倍率でいったん停止し（セーフティズーム）、液晶モニターに が表示されます。再度、 側へ押すと、さらに拡大できます。このとき、ズーム倍率の表示が白色から青色に変わります。

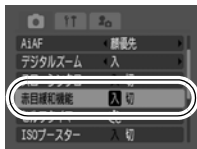
赤目緩和機能を設定する

ストロボ発光時、自動的に赤目緩和*ランプを発光させるかどうかを設定します。

*ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

1 (撮影)メニュー▶[赤目緩和機能]▶[入]*/[切]

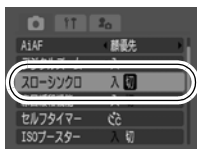
メニュー操作（p.23）

*初期設定

スローシンクロを設定する

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影できます。夜景や室内の照明を利用した撮影時に便利です。

1 (撮影)メニュー▶[スローシンクロ]▶[入]/[切]*

メニュー操作（p.23）

*初期設定

- ［スローシンクロ］を［入］にして撮影すると手ぶれしやすくなります。その場合は、三脚をお使いになることをおすすめします。

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p.141）。

＊推奨メモリーカード：
撮影の直前に物理フォーマット（p.29）を行った超高速の SDC-512MSH（別売）

・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 ボタンを押し、▲/▼ボタンで を表示する

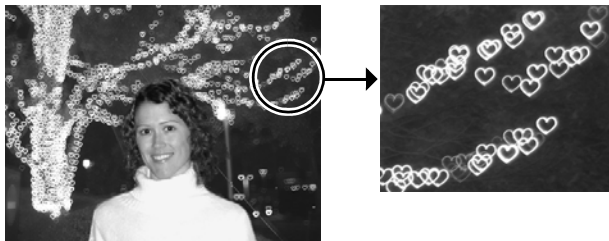
2 撮影する

● シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

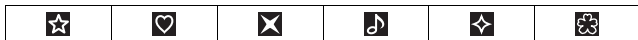
解除のしかた：手順 1 で を選択する

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

ファンタジーナイトモードで撮る SCN

夜景やイルミネーションなどの点光源をバックに、人物を撮影します。点光源を指定した形に描くことができ、幻想的な画像を撮影できます。このとき、必ずストロボをお使いください（初期設定は、常時発光です）。

♡を選択して撮影した画像

効果選択の種類

☆	♡	✕	♪	✧	✿

撮影のポイント

- 撮影の直前に試し撮りをし、撮影の結果を確認することをおすすめします。
- なるべく暗い場所で、点光源を撮影してください。
- 人物にストロボが当たるように、ストロボ撮影範囲（p.137）内で撮影してください。このとき、人物にストロボ以外の照明が当たらないようにしてください。
- 撮影後に再生し、思ったとおりの画像になっているかを確認してください。

1 FUNC.メニュー▶ *（ポートレート）▶ （ファンタジーナイト）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

2 を押す

3 ←/→ボタンで形を選んで を押し、撮影する

●ズーム位置によって、指定した形の大きさは変わります。

- 他の撮影モードに比べて、手ぶれを補正しきれない場合があります。
- 手ぶれが大きすぎたり、動いている光源を撮影すると、指定どおりの形に描けないことがあります。
- 被写体と光源の位置によっては、指定した形が被写体に重なることがあります。
- 撮影状況によっては、思い通りの明るさにならない場合や、指定どおりの形に描けない場合があります。

L判プリントモードに設定する

液晶モニターで印刷範囲（縦横比 約3：2）を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 FUNC.メニュー▶ L *(記録画素数)▶ (L判プリント)

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- 記録画素数は M3 (1600 × 1200)、圧縮率は (ファイン)になります。
- 印刷されない領域がグレーになります。

- デジタルズームやデジタルテレコンは使用できません。

- 印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

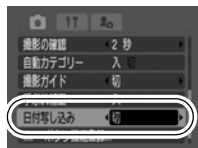
画像に日付を写し込む

(L判プリント) のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 (撮影)メニュー▶[日付写し込み]▶[切]*/[日付のみ]/[日付＋時刻]

メニュー操作（p.23）

＊初期設定

- 液晶モニターの表示
  - ：[切]
  - ：[日付のみ]/[日付＋時刻]

- あらかじめカメラの日付 / 時刻が正しく設定されていることを確認してください（p.27）。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

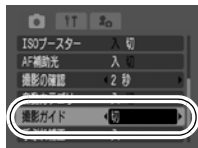
撮影ガイドを設定する

被写体の水平や垂直、縦横比 3：2 の印刷範囲を液晶モニターで確認しながら撮影できます。

グリッドライン	画面を 9 分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます。
3：2 ガイド	縦横比 3:2 で印刷できる範囲を確認できます*。印刷されない領域はグレーになります。 *記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。
両方	グリッドラインと 3：2 ガイドの両方を同時に表示できます。

1 （撮影）メニュー▶［撮影ガイド］▶［切］*/［グリッドライン］/［3:2ガイド］/［両方］

メニュー操作（p.23）

*初期設定

- グリッドラインや 3：2 ガイドは画像には記録されません。
- 、選択時やでは、グリッドラインのみ設定できます。

撮影する

動画を撮る

動画撮影には、次のモードがあります。
各モードの記録画素数とフレームレートについては、「記録画素数とフレームレートについて（p.46）」をご覧ください。
なお、ボタンにを登録すると、モードダイヤルがどの位置でも、ボタンを押すだけで動画を撮影できます（p.67）。

スタンダード

記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。
また、撮影中にデジタルズームが使えます（p.33）。

・1 回の最大記録容量：4GB ＊

スムーズ

スポーツなどの速い動きの撮影に使います。

・1 回の最長記録時間：1 分

ライト

記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、メモリーカードの容量が少ないときなどに使うと便利です。

・1 回の最長記録時間：3 分

ワンポイントカラー、スイッチカラー

画像の指定した色以外を白黒にしたり、指定した色を別の色に変えて撮影できます（p.61、p.62）。
スタンダードと同様に、記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。

・1 回の最大記録容量：4GB ＊

インターバル	
	撮影の間隔（1 秒または 2 秒）を選び、その間隔で 1 フレームずつ撮影します。2 時間分の撮影は、8 分（撮影間隔 1 秒）または 4 分（撮影間隔 2 秒）に短縮して再生されます。開花する植物の観測などの定点観測を動画で記録でき、変化する様子を短時間で見ることができます。音声の記録はできません。
	・1 回の最長記録時間：2 時間

・記録可能時間は、お使いのメモリーカードによって異なります（p.142）。
＊記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 FUNC.メニュー▶ ＊（スタンダード）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで動画撮影モードを選び、FUNC./SETボタンを押します。
- 、、 の場合は、記録画素数やフレームレート（p.45）を変更できます。
- 、 の手順は、「色を変えて撮る（p.60）」をご覧ください。
- の場合は、撮影間隔（p.46）を変更できます。
- のときは、撮影時間が長くなるため、フル充電したバッテリー、またはACアダプターをお使いになることをおすすめします。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
- シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。のときは、ランプが緑色に点滅します。
- 再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間を経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき
- を再生するとき、液晶モニターには録画開始から終了までの経過時間が表示されますが、実際の再生時間は表示時間より短縮されます。

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.29）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク（基本編 p.1）に触れないでください。
  - シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カメラを太陽に向けて撮影しないでください。

- 撮影前に、AE ロック（p.51）と露出シフトができます。
  1. ISOボタンを押す
  露出が固定（AE ロック）し、液晶モニターに露出シフトバーが表示されます。
  2. ←/→ ボタンで露出を変更する
  もう一度、ISOボタンを押すと解除できます。また、MENUボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- のときは、節電の設定（p.27）に応じて液晶モニターが消えます。電源スイッチとシャッターボタン以外を操作すると液晶モニターが表示されます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTimeが必要です(Windows 2000のみ)。

記録画素数とフレームレートを変更する

動画撮影モードが、(スタンダード）、(ワンポイントカラー)、(スイッチカラー）のとき、記録画素数やフレームレートを変更できます。

1 **FUNC. メニュー▶ *(フレームレート)/ *(記録画素数)**

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで記録画素数/フレームレートを選び、FUNC./SETボタンを押します。

記録画素数とフレームレートについて

フレームレートは、1秒間に撮影/再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

	記録画素数	フレームレート		
		60フレーム/秒	30フレーム/秒	15フレーム/秒
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 × 480 画素	−	○*1	○
	320 × 240 画素	−	○	○
スムーズ*2	320 × 240 画素	○	−	−
ライト*2	160 × 120 画素	−	−	○
インターバル	640 × 480 画素	−	−	○*3

*1 初期設定

*2 記録画素数およびフレームレートは固定になります。

*3 撮影時のフレームレートは 1" :1 フレーム / 秒、2" :0.5 フレーム / 秒

再生時のフレームレートは 1" 2" : 15 フレーム / 秒

- 1 画像の容量（目安）（p.143）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p.141）

撮影の間隔を変更する（(インターバル)）

1 FUNC.メニュー ▶ 1"*/2"

メニュー操作 *（p.22）*

*初期設定

- ←/→ ボタンで撮影間隔(1秒/2秒)を選び、FUNC./SETボタンを押します。
- 撮影可能時間が表示されます。

撮影可能時間

パノラマ画像を撮る(スティッチアシスト)

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

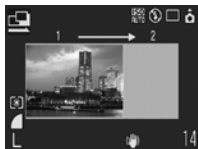
1 FUNC.メニュー ▶ *（マニュアル）▶ / （スティッチアシスト）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- 次の2つの方向が選べます。
  - :左から右方向へ水平に撮影します。
  - :右から左方向へ水平に撮影します。

2 最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- ◆/◆ ボタンを押すと、1つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最後の撮影後、FUNC./SETボタンを押します。
- 最大26画像まで撮影できます。

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2 画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

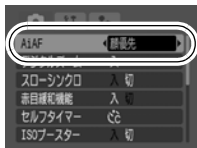
ピントの合わせかたを切り換える

オートフォーカス枠（AF 枠）は、ピントを合わせるための枠です。次の 3 つのピントの合わせかたを選べます。

[ ]	顔優先	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせます。またストロボ発光時は、顔の明るさが適正になるように調光します。顔が検出されない場合は、［入］で撮影されます。 ＊露出は評価測光時のみ（p.52）
（枠なし）	入	撮影状況に応じて、9 つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 (撮影)メニュー▶[AiAF]▶[顔優先]*/[入]/[切]

メニュー操作(p.23)

*初期設定

- 液晶モニターが消えているときは、[顔優先]は使えません。

- シャッターボタンを半押ししたときのAF 枠の表示は、次のとおりです(液晶モニターがついているとき)。
  - ・緑色　:撮影準備完了
  - ・黄色　:ピントが合いにくいとき(AiAF が[切]のとき)
  - ・非表示:ピントが合いにくいとき(AiAF が[入]のとき)
- [顔優先]を選んだときは、次のとおりです。
  - カメラが顔と認識した位置に枠が最大 3 つまで表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色の枠、そのほかの箇所にグレーの枠が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、最大 9 つまで緑色の AF 枠が表示されます。
  - 白色の枠が表示されず、グレーの枠のみが表示された場合は、撮影時には[顔優先]ではなく[入]で撮影されます。
  - 人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。このときは、[入]または[切]にしてお使いください。
  - 顔が検出されない状況としては、以下のようなことが考えられます。

  ＜主な例＞
  - ・顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
  - ・顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AFロック）

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダーの中央または液晶モニターのAF枠に収める

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

、、、、、で操作できます。

1 液晶モニターをつける

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める

3 シャッターボタンを半押ししながら、/ボタンを押す

- AFLが表示され、ランプが黄色に点灯します。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：🌷/▲ ボタンを押す

- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、AiAF を［切］（p.48）にすると、中央の AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- 🎥 では AF 枠は表示されません。

露出を固定して撮る（AEロック）

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

- ストロボは必ず ⊛ に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボ発光時は、AE ロックできません。

1 液晶モニターをつける

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

- AEL が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISOボタンを押す

- 🎥 のときも、AE ロックの設定 / 解除ができます（p.45）。
- ストロボをお使いのときは、FE ロックで撮影してください。

FEロックで撮る

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 液晶モニターをつける

2 ボタンを押して、（常時発光）を選ぶ

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

●ストロボがプリ発光し、FELが表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

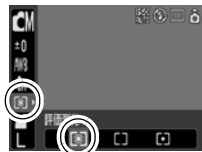
解除のしかた：ISOボタンを押す

測光方式を切り換える

1 FUNC.メニュー ▶ *（評価測光）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

● ←/→ ボタンで測光方式を選び、FUNC./SETボタンを押します。

測光方式の種類

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

- 長秒時撮影（p.54）するときは、評価測光に固定されます。

露出を補正する

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合はプラス側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で、被写体が明るくなってしまう場合にはマイナス側に露出を補正します。

1 **FUNC.メニュー ▶ ±0 *（露出補正）**

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで露出を補正し、FUNC./SETボタンを押します。

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

- のときは露出シフトの設定 / 解除ができます（p.45）。

シャッタースピードを設定する(長秒時撮影)

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ ±0*(露出補正) ▶ MENU

メニュー操作(p.22)

*初期設定

2 ←/→ボタンでシャッタースピードを選ぶ ▶ FUNC. SET

- 数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。
- このとき、MENUボタンを押すと、露出補正の設定画面に戻ります。

- 電源を切ると設定は解除されます。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます(ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります)。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。手ぶれ補正を［切］以外に設定するか、三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合はストロボを にして撮影してください。
- 長秒時撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　・測光方式　・AE ロック
  ・FE ロック　・ISO 感度［オート］［高感度オート］
  ・ISO ブースター　・ストロボ［オート］　・スローシンクロ

色合いを調整する（ホワイトバランス）

通常は、（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー ▶ *（オート）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC./SET ボタンを押します。

ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

● マイカラーが Se BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC. メニュー ▶ AWB *（オート）▶ （マニュアル）

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

2 白い紙や布にカメラを向け、MENU を押す

- 液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は、画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時は中央の枠は表示されません。

- 撮影モードを C M にし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オートで白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- ボタンに（マニュアル WB）を登録 (p.67) すると、ボタンを押すたびに白データを取り込めます。

マイカラーで撮る

画像の印象を変えて撮影できます。

	マイカラー切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
	セピア	セピア色にする
	白黒	白黒にする
	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかにする。ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
	色白肌*	人物の肌を色白にする
	褐色肌*	人物の肌を褐色にする
	あざやかブルー	青色を強調する。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかグリーン	緑色を強調する。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調する。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを設定したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更したりして撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

＊被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC.メニュー▶ 🄾*(マイカラー切)

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンでマイカラーを選びます。
- Bc のとき
「カスタムカラーモードを設定する(p.59)」をご覧ください。
- Bc 以外のとき

FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻します。

2 撮影する

カスタムカラーモードを設定する

コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤、緑、青、肌色の、それぞれのバランスを調整して撮影します。

1 FUNC. メニュー▶ 🄾*(マイカラー切)▶ Bc (カスタムカラー)▶ (MENU)

メニュー操作（p.22）

＊初期設定

2 **↑/↓ボタンで[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、←/→ボタンで調整する**

●調整結果が表示されます。

項目を選ぶ　調整する

3

●設定を終了します。
このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

色を変えて撮る

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、［オリジナル保存］機能（p.64）を［入］にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録できます。

	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

- 撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 **静止画：FUNC.メニュー ▶ * (マニュアル) ▶ (ワンポイントカラー)**

動画　：FUNC.メニュー ▶ * (スタンダード) ▶ (ワンポイントカラー)

メニュー操作 (p.22)

＊初期設定

静止画時

動画時

2 (FUNC. SET)

●ワンポイントカラーモードになります。

3 (DISP.)

●色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

4 **液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す**

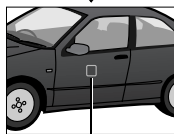
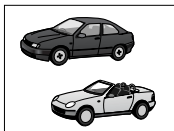
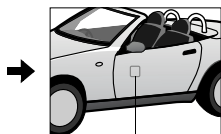
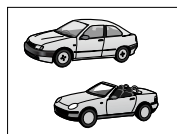
●指定できるのは1色です。

● ▲/▼ ボタンで、残したい色の範囲を変更できます。
　-5：残したい色だけを取り込みます。
　+5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

撮影する

5 で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する

1 静止画：FUNC.メニュー▶ *(マニュアル) ▶ (スイッチカラー)
動画　：FUNC.メニュー▶ *(スタンダード) ▶ (スイッチカラー)

メニュー操作 (p.22)

＊初期設定

静止画時

動画時

2

●スイッチカラーモードになります。

3 (DISP.)

●色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

4 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す

●指定できるのは1色です。

●▲/▼ボタンで、変えたい色の範囲を変更できます。
　–5：変えたい色だけを取り込みます。
　+5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

5 液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、▶ボタンを押す

●指定できるのは1色です。

6 (DISP.)で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

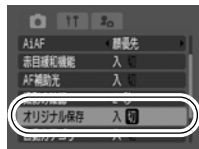
オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラー、スイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 (撮影)メニュー▶[オリジナル保存]▶[入]/[切]*

メニュー操作（p.23）

*初期設定

- [入]の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラーやスイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

- **[オリジナル保存] を [入] に設定した場合**
  - 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで設定している画像だけです。
  - 撮影直後、液晶モニターには、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
  - 1回の撮影で2画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ISO ISO感度を変更する

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 ISOボタンを押し、▲/▼ボタンで切り換える

- ボタンを押すごとに、ISO AUTO*、ISO HI、ISO 80、ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800、ISO 1600の切り換えができます。

  *初期設定
- ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTOよりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影してもISO AUTOに比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

  * ISO AUTOに比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。
- 撮影モードが（オート）のときは、ISO AUTO、ISO HIのみ選択できます。
- 長秒時撮影（p.54）のときは、ISO AUTO、ISO HIは選択できません。

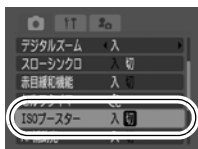
- 高い ISO 感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。
- ISO AUTOまたはISO HIに設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定したISO感度が表示されます。

ISO感度をワンタッチで変更する(ISOブースター)

撮影時に手ぶれ警告アイコン（ ）が表示されたとき、ボタンを押すだけでISO感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

1 （撮影）メニュー ▶ [ISOブースター] ▶ [入]/[切]＊

メニュー操作（p.23）

＊初期設定

2 シャッターボタンを半押しする

- が表示されると、ボタンが青色に点滅します。

3 シャッターボタンを半押ししたままボタンを押す。ボタンが点灯に変わったら、そのままシャッターボタンを全押しする

- シャッターボタンを半押しした状態で、再度ボタンを押すと、ISO感度が元の設定に戻ります。
- ISO感度が上がった後にAEロック(p.51)をすると、シャッターボタンを放しても、ISO感度変更モードは解除されません(AEロックを解除するまでボタンが青色に点灯します。)。

- ISO HI、ISO 800、ISO 1600のとき、長秒時撮影時、ストロボ発光時は、動作しません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン（ ）が消えないことがあります。

ボタンに機能を登録する

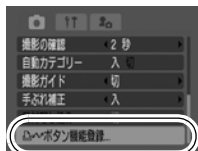
撮影時によく使う機能を、ボタンに1つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先
無効*1	−
露出補正	p.53
ホワイトバランス	p.55
マニュアル WB（ホワイトバランス）	p.56

項目	参照先
デジタルテレコン	p.33
撮影ガイド	p.41
動画	p.42
ディスプレイオフ	p.27
効果音*2	p.28

*1 初期設定
*2 マイカメラメニューの［シャッター音］のが登録されます。

1 （撮影）メニュー ▶［ボタン機能登録］

メニュー操作（p.23）

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで登録したい機能を選び、(FUNC. SET)を押す

- アイコン右下に⊘が表示されている場合、機能の登録はできますが、現在の撮影モードでは⎙〜ボタンを押しても無効となります。

解除のしかた：手順２で[×]を選択する

⎙〜ボタンを使う

1 ⎙〜ボタンを押す

- ⎙〜ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定が切り換わります。
  - [±] と [WB] は設定画面が表示されます。
  - [白] は、⎙〜ボタンを押すたびに白データを取り込みます。なお、このとき枠は表示されないので、液晶モニターの中央になるように白い紙や布を置いてから⎙〜ボタンを押してください。
  - [動画] は、モードダイヤルが[カメラ]、[カメラ]M、SCNのときに⎙〜ボタンを押すと、スタンダードで設定した記録画素数とフレームレートで撮影を開始します。
  - [◎)] は、⎙〜ボタンを押すと音が鳴るので、撮影直前に被写体の注意をカメラに向けたいときに便利です。
- 現在の撮影モードでお使いになれない機能が設定されている場合は、⎙〜ボタンを押しても無効となります。

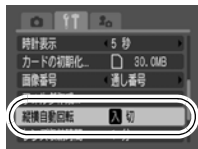
縦横自動回転の設定をする

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 （設定）メニュー▶[縦横自動回転]▶[入]*/[切]

メニュー操作（p.23）

＊初期設定

- 撮影時に縦横自動回転を[入]にすると、液晶モニターに(情報表示ありのとき)、(通常)、(右が下)、または(左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

- このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

撮影直後にピントを確認する

撮影直後に、ピントが合っているかどうかを確認できます。

1 撮影する

●撮影した画像が約2秒間（または［撮影の確認］（p.24）で設定した秒数）表示されます。

2 撮影した画像が表示されている間に（DISP.）（または（FUNC. SET））を押す

●液晶モニターの表示設定（下記）によって、DISP.ボタンを押す回数が異なります。右の画面が表示されるまで、DISP.ボタンを何回か押してください。

●以下のとおりに表示されます。

- ピントが合っているとき：撮影した画像にAF枠が白色で表示され、ピントの合っているAF枠内に、橙色の枠が表示されます。
- ピントが合っていないとき：撮影した画像の中央に橙色の枠が表示されます。
- 橙色の枠内の画像を右下で確認できます。ズームレバーで表示倍率を変更できます。

●MENUボタンやFUNC./SETボタンで、橙色の枠内表示の位置を変更できます（p.71）。

解除のしかた：シャッターボタンを半押しする

- 画像の表示中は、消去ボタンを押すと画像を消去できます（表示位置変更モード時を除く）（基本編 p.19）。
- DISP. ボタンを押すたびに、次のとおりに液晶モニターの表示が切り換わります。
  ピント確認表示→詳細表示→情報表示なし

AF 枠を切り換える / 表示位置を変更する

1 (MENU) を押す

- ピントの合った複数の AF 枠が表示された画像の場合、MENUボタンを押すごとに、橙色の枠内の表示が切り換わります。

2 (FUNC. SET) を押す

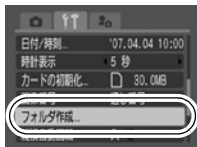
- 表示位置変更モードになります。▲/▼または◀/▶ボタンで表示位置を変更します。
- MENU ボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。複数の AF 枠が表示されている画像の場合は、橙色の枠の位置が切り換わります。
- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと、表示位置変更モードを解除します。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

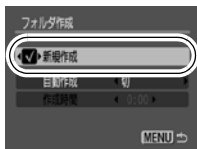
任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

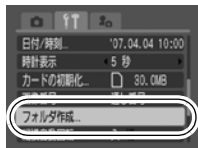
次回撮影時にフォルダを作成する

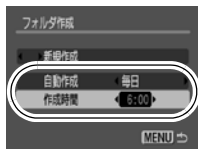
1 （設定）メニュー▶［フォルダ作成］

メニュー操作（p.23）

2 ［新規作成］に、◆/◆ボタンでチェックマークをつける

- 撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

指定した日時にフォルダを作成する

1 （設定）メニュー▶［フォルダ作成］

メニュー操作（p.23）

2 ［自動作成］で作成日を選び、［作成時間］で時刻を設定する▶(MENU)

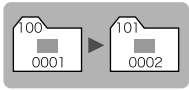
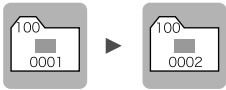
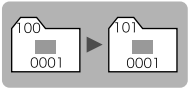
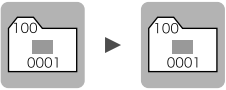
- 指定した時間になると、液晶モニターにが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

- ひとつのフォルダに最大 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー▶[画像番号]▶[通し番号]*/[オートリセット]

メニュー操作(p.23)

*初期設定

画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけれらます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 *新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた7桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値(100-0001)に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 *新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、そのメモリーカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた7桁の番号の続きの番号になります。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のメモリーカードに交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 100: 0001 ▶ 101: 0002	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100: 0001 ▶ 100: 0002
オートリセット	メモリーカード 1 100: 0001 ▶ 101: 0001	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100: 0001 ▶ 100: 0001

・次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
　・連続撮影　・セルフタイマー（カスタムの場合）　・スティッチアシスト
　・静止画のワンポイントカラー / スイッチカラー（［オリジナル保存］が［入］の場合）
・同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
・フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

画像の選択やその他の操作で、タッチホイールを使うこともできます（基本編 p.4、基本編 p.18）。

拡大して見る

1 ズームレバーを側に押す

- SET が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約 10 倍まで拡大して表示できます。

表示位置の目安

2 ↑/↓または←/→ボタンで表示位置を変更する

- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、SET が表示されます。←/→ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度FUNC./SETボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

- 動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 ズームレバーを側に押す

- 9画像ずつ表示されます。
- ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され､9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ◀/▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- FUNC./SETボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと､最初または最後の9画像を表示します。

解除のしかた：ズームレバーを Q側に押す

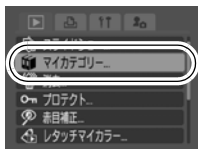
カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）

画像を、あらかじめ用意されているカテゴリー（人物、風景、イベント、カテゴリー 1 ～ 3、作業用）に分類し、カテゴリー単位で管理することができます。カテゴリー単位に次の操作が行えます。

・画像検索（p.79）　・スライドショー（p.93）
・プロテクト（p.98）　・消去（p.101）　・印刷指定（p.103）

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p.23）

- 再生モードのとき ボタンを押すと、すぐに手順2の画面を表示できます。

2 ←/→ボタンでカテゴリーで分類する画像を選び、↑/↓ボタンでカテゴリーの種類を選んで FUNC./SET を押す

- 1つの画像を複数のカテゴリーに分類することができます。
- インデックス再生にしても設定できます。
- 再度FUNC./SETボタンを押すと設定を解除できます。

- 消去や印刷、スライドショーなどの画像を管理するときは、［作業用］に分類すると便利です。

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	マイカテゴリー	各カテゴリーの先頭画像を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

●検索ジャンプモードになります。

2 ▲/▼ボタンで検索キーを選ぶ

●検索キーによって、画面例は若干異なります。
●DISP.ボタンで、画像情報の表示/非表示の切り換えができます。

3 画像を表示する

● /
◀/▶ ボタンを押します。
●MENUボタンを押すと解除します。

再生/消去する

● / / /
◆/◆ ボタンで再生したい日付、カテゴリー、フォルダ、動画を選び、FUNC./SETボタンを押します。

- 絞込み再生モードに変わり、青い枠が表示されます。検索キーで指定した画像だけを再生できます。
- ◆/◆ ボタンで項目を選択しているときは、各項目の先頭の画像が液晶モニターに表示されます。
- 項目選択後、タッチホイールを回すと、指定した日付、カテゴリー、フォルダの中で、前後に画像を送ることができます。
- ボタンを押すと、絞込み再生モードを解除します。

● 以下の場合には、絞込み再生モードが解除されます。
  - カテゴリー分けするとき
  - レタッチマイカラーで効果をつけた画像、赤目補正を行った画像、あるいは編集した動画を新規保存するとき
  - [(再生)]メニューの[消去]から、画像を消去するとき

動画を見る

● インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、(FUNC. SET)を押す

● SET の表示されている画像が動画です。
●動画再生パネルが表示されます。

2 ▶(再生)を選び、(FUNC./SET)を押す

- 再生中に FUNC./SETボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。
- 動画再生中にDISP.ボタンを押すと、再生バーの表示/非表示の切り換えができます。
- 前回、再生を中断した場合は、最後に再生したフレームから表示されます。

動画再生パネルの操作

	シングル再生に戻る
	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
	再生
	スロー再生（スロー再生の速度は、◀ボタンで遅く、▶ボタンで速くできます。）
	先頭フレームを表示
	フレーム戻し（FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。）
	フレーム送り（FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。）
	最終フレームを表示
	編集（動画編集モードに切り換えます。）（p.82）

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p.100）
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

- 編集前の長さが1秒以上の動画を1秒単位で編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が1秒（■のときは15秒*または30秒**）未満の動画は編集できません。

＊［撮影間隔］が1秒のとき、＊＊［撮影間隔］が2秒のとき

1 動画再生パネルの■（編集）を選び、(FUNC. SET)を押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル

動画編集バー

2 ▲/▼ボタンで■（前部を削除）または■（後部を削除）を選び、◀/▶ボタンで削除する位置（■）を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、▶（再生）を選んでFUNC./SETボタンを押します。
- ■（終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 ■（保存）を選び、(FUNC. SET)を押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC./SET)を押す

- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にFUNC./SETボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

- 編集した動画を保存するとき、ファイル容量によっては時間がかかる場合があります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいは AC アダプターキット ACK-DC30（別売）のご利用をおすすめします（p.131）。

回転して表示する

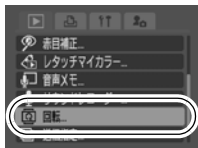
時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

90度

270度

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p.23）

2 ←/→ ボタンで回転する画像を選び、FUNC./SET を押して回転する

- FUNC./SET ボタンを押すごとに、90 度→ 270 度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	←ボタンを押すと左側から前の画像が、→ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 (再生)メニュー▶ ▶ / *　/

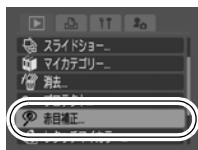
メニュー操作（p.23）

＊初期設定

赤目を補正する

目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。
ただし、画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。
<主な例>
- 顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作（p.23）

2 ←/→ボタンで赤目を補正する画像を選び、FUNC./SETを押す

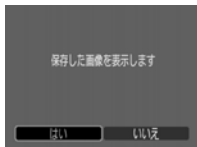
- 自動的に赤目を補正する位置に、枠が表示されます。
- 赤目が自動的に検出されなかった場合は、←/→ボタンで[補正枠の追加]を選び、FUNC./SETボタンを押します(p.87)。

3 [補正実行]を選び、FUNC./SETを押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC. SET)を押す

- [新規保存]:新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
- [上書き保存]:補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は削除されます。
- [新規保存]の場合は、手順5へ進みます。

5 (MENU)を押し、[はい]または[いいえ]を選んで(FUNC. SET)を押す

- [はい]の場合は赤目補正した画像が表示され、[いいえ]の場合は再生メニューに戻ります。

- 動画は赤目補正できません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- メモリーカードの空き容量が足りないときは、赤目補正はできません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されません。［補正枠の追加］を選択してください。

補正枠を追加する

補正枠は、最大 35 個まで追加できます。

1 ←/→ボタンで[補正枠の追加]を選び、(FUNC. SET)を押す

2 ←/→または↑/↓ボタンで枠の位置を合わせて、(FUNC. SET)を押す

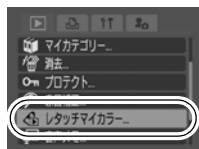
- ズームレバーで枠の大きさを変更できます。

レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます（静止画のみ）。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細は p.58 をご覧ください。

	くっきりカラー		色白肌
	すっきりカラー		褐色肌
	セピア		あざやかブルー
	白黒		あざやかグリーン
	ポジフィルムカラー		あざやかレッド

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p.23）

2 ←/→ ボタンで効果をつける画像を選び、（FUNC. SET）を押す

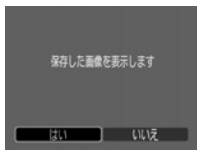
3 ←/→ボタンで効果をつけたいレタッチマイカラーの種類を選び、(FUNC./SET)を押す

- レタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
- ズームレバーをQ側に押すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、FUNC./SETボタンでレタッチマイカラーで効果をつけた画像と効果がついていない元画像の切り換えができます。

4 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す

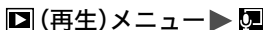
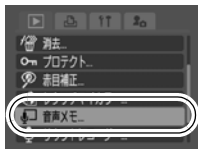
- 新規に保存されたレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
- 引き続き、他の画像に効果をつけたい場合は、手順2から操作を繰り返します。

5 (MENU)を押し、[はい]または[いいえ]を選んで(FUNC./SET)を押す

- [はい]の場合はレタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示され、[いいえ]の場合は再生メニューに戻ります。

- メモリーカードの空き容量が足りないときは、レタッチマイカラーで効果をつけることができません。
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもレタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- マイカラーで撮影した画像（p.58）と、再生時にレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

音声メモをつける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生)に、最長1分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作（p.23）

2 **←/→ ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC. SET を押す**

- 音声メモパネルが表示されます。

3 ● (録音)を選び、(FUNC./SET)を押す

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- FUNC./SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。

音声メモパネルの操作

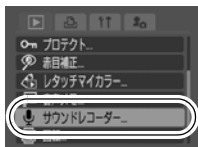
↩	設定を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生
	消去 表示される画面で［消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

音声だけを記録する(サウンドレコーダー)

画像を記録せず、音声だけを最長約 2 時間連続して録音できます。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作(p.23)

2 (録音)を選び、を押す

- 録音時間が表示されます。
- ↑/↓ボタンでサンプルレートを変更できます。[11.025kHz]、[22.050kHz]、[44.100kHz]*の順に音質は良くなりますが、記録されるファイル容量は大きくなります。
  *初期設定
- FUNC./SET ボタンを押すと録音を停止します。再度ボタンを押すと新しく録音が開始されます。

音声操作パネルの操作

←/→ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

↩	操作を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生(↑/↓ボタンで再生したい音声を選んでから、FUNC./SET ボタンを押します。)

◀◀	早戻し（FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。音声は再生されません。）
▶▶	早送り（FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。音声は再生されません。）
	消去（表示される画面で［消去］または［全消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します。）
	プロテクト（誤って消去しないように、プロテクト（保護）します。FUNC./SET ボタンで設定、設定解除します。）
	再生音量（▲/▼ボタンで調節できます。）

- サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間(目安)(p.142)
- メモリーカードの容量がいっぱいになった時点で自動的に録音を終了します。

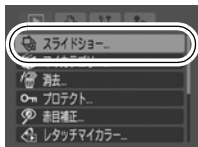
画像を自動再生する(スライドショー)

メモリーカード内の画像を自動再生します。

スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

	全画像	メモリーカード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	マイカテゴリー	指定したカテゴリーの画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
★1～★3	カスタム1～カスタム3	カスタム1～3でマークされている画像を順に再生します（p.96）。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p.23）

2 、、、、、、～のいずれかを選ぶ

- 、、のとき：再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選びます(p.95)。
- ～のとき：再生する画像を選びます(p.96)。
- 効果をつけて再生する場合は、▲ボタンで[効果]を選び、◀/▶ボタンで種類を選びます(p.95)。

3 [スタート]を選び、(FUNC. SET)を押す

- 自動再生中は、次のことができます。
  - スライドショーの一時停止/再開：FUNC./SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻し：◀/▶ボタンを押す（ボタンを押し続けると早送りします。）
  - スライドショーの中止：MENUボタンを押す

効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

- シングル再生時、FUNC./SET ボタンを押しながら ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / マイカテゴリー / フォルダを選ぶ （、、）

1 、または を選び、 を押す

2 ／ボタンで再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、 を押す

- 再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
- 選択した順に再生されます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- ／ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

再生する画像を選ぶ（★1～★3）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、［カスタム 1］から［カスタム 3］に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 ★1～★3 のいずれかを選び、(FUNC/SET) を押す

- 初めは、★1 だけが表示されます。★1 を設定すると、表示が ★1✓ に変わり、★2 が表示されます。★2 ★3 も、同じように表示が変わっていきます。

2 ←/→ボタンで再生する画像を選び、(FUNC/SET) で選択または選択を解除する

- インデックス再生にしても選択できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

選択を表すチェックマーク

選択順の番号

- すべての画像を指定するとき
  1. 手順1で、★1～★3 のいずれかを選んだ後、↑ ボタンで［全画像］を選び、FUNC./SET ボタンを押す
  2. ↑ ボタンで［全画像指定］を選び、FUNC./SET ボタンを押す
  3. → ボタンで［OK］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

  設定後に解除する場合には、［リセット］を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

●再生間隔

スライドショーで1 画像を表示する時間を指定します。3*～10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔は多少異なります）。

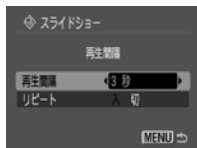
*初期設定

●リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 [設定]を選び、(FUNC. SET)を押す

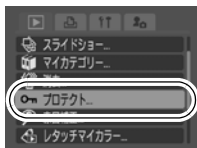
2 [再生間隔]または[リピート]を選び、設定したい内容を選ぶ

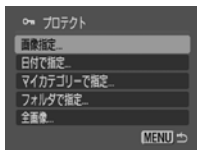
●MENUボタンを押すと、設定を終了します。

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつプロテクトの設定ができます。
日付で指定	指定した日付の画像にプロテクトの設定ができます。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像にプロテクトの設定ができます。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像にプロテクトの設定ができます。
全画像	メモリーカード内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作(p.23)

2 設定方法を選び、(FUNC. SET)を押す

- [全画像]の場合は、手順 5 へ進みます。

3 プロテクトする画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC. SET)を押す

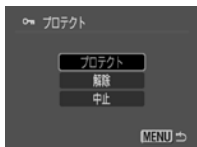
●[画像指定]
←/→ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンを押します。
- 再度FUNC./SETボタンを押すとプロテクトを解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

プロテクトマーク

●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]
↑/↓ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、FUNC./SETボタンを押します。
- 再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- ←/→ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

4 [日付で指定][マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定]の場合は、(MENU)を押す

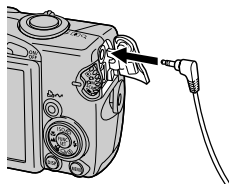
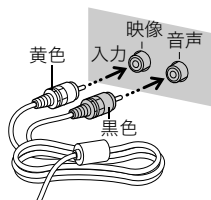
5 [プロテクト]を選び、(FUNC. SET)を押す

●[解除]を選ぶと、選択した画像のプロテクトを解除し、手順2に戻ります。
●[中止]を選ぶと、プロテクト画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。

テレビを使って再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

●端子カバーの左端に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで差し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる

- ビデオ出力方式の設定方法 （p.27）
- 撮影モードにすると、テレビに画像を表示しながら撮影できます。

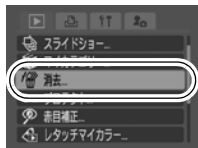
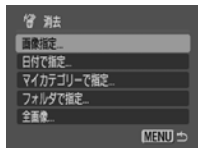
画像を消去する

メモリーカード内の画像を消去します。

画像指定	1画像ずつ選択した後にまとめて消去します。
日付で指定	指定した日付の画像を消去します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像を消去します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を消去します。
全画像	メモリーカード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作 (p.23)

2 消去方法を選び、FUNC./SET を押す

- [全画像]の場合は、手順5へ進みます。

3 **消去する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC./SET)を押す**

●[画像指定]

◆/◆ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンを押します。

- 再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても選択できます。

●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]

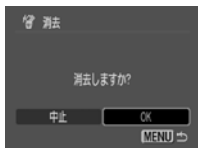
▲/▼ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、FUNC./SETボタンを押します。

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- ◆/◆ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

4 **(MENU)を押す**

5 **[OK]を選び、(FUNC./SET)を押す**

●[中止]または[キャンセル]を選ぶと消去画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。

●消去中にFUNC./SETボタンを押すと、中止できます。

● 画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください（p.29）。

印刷指定 / 送信指定する

画像の選択やその他の操作で、タッチホイールを使うこともできます（基本編 p.4、基本編 p.22）。

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOFに準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

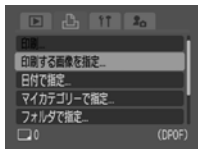
DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

印刷する画像を指定	画像を見ながら 1 画像ずつ印刷指定します。
日付で指定	指定した日付の画像を印刷指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリーの画像を印刷指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を印刷指定します。
すべての画像を指定	すべての画像に対して印刷指定します。
すべての指定を解除	画像の印刷指定をすべて解除します。

- 指定した画像に対して、1枚ずつ印刷指定されます。[印刷する画像を指定］で印刷タイプ（p.106）が［スタンダード］/［両方］の場合のみ、印刷枚数を指定できます。

1 モードダイヤル▶(再生)▶ 🖶(印刷)メニュー▶指定方法の選択▶(FUNC./SET)

メニュー操作(p.23)

- [すべての画像を指定]の場合は、手順4へ進みます。

2 印刷する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC./SET)を押す

- [印刷する画像を指定]
  印刷タイプの設定(p.106)によって異なります。

  スタンダード(■)/ 両方(■ ▦):
  ←/→ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンを押して↑/↓ボタンで印刷枚数を指定します(最大99枚まで)。

印刷枚数表示

  インデックス(▦):
  ←/→ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンで指定、指定解除を行います。

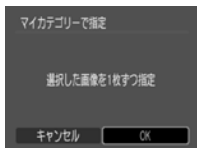
インデックス印刷の選択

  - インデックス再生にしても設定できます。
  - MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

- ●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]
  ⬆/⬇ボタンで日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、FUNC./SETボタンを押します。
  - 再度 FUNC./SET ボタンを押すと、指定を解除できます。
  - 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
  - ⬅/➡ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

3 [日付で指定]、[マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定]の場合は、(MENU)を押す

4 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す

- ●[キャンセル]を選ぶと、印刷指定の選択を取り消し、手順1に戻ります。

- ● プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- ● 動画は印刷指定できません。

- ● 画像番号の順に印刷されます。
- ● 最大 998 画像まで指定できます。
- ● プリンターに接続している場合、画像が指定されると ボタンが青色に点灯します。このとき、 ボタンを押して、［印刷］が選択されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押すと、印刷が開始されます。

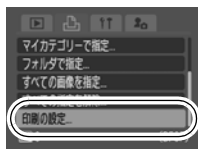
印刷スタイルを設定する

印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付（入 / 切＊）		日付を入れて印刷します。
画像番号（入 / 切＊）		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除（入＊ / 切）		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 **モードダイヤル（再生）▶（印刷）メニュー▶［印刷の設定］**

メニュー操作（p.23）

2 **［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］、［印刷後指定解除］のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ**

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。

- (L 判プリント) で日付を写し込んだ画像 (p.40) は、[日付] の設定にかかわらず、日付が印刷されます。そのため、[日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷される場合があります。
- 日付は、[日付 / 時刻] で設定した日付スタイルで印刷されます (p.27)。

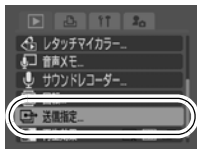
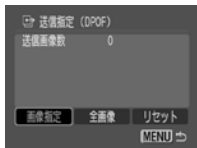
DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作 (p.23)

2 [画像指定]を選び、FUNC. SET を押す

- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 ←/→ボタンで送信する画像を選び、FUNC./SETを押す

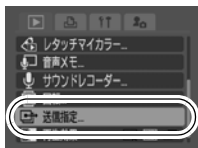
●再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
●インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択

メモリーカード内のすべての画像を指定する

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p.23）

2 [全画像]を選び、FUNC./SETを押す

●[リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 [OK]を選び、FUNC./SETを押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

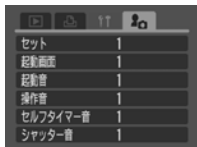
カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

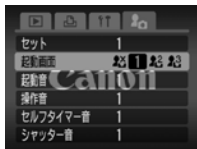
画像の選択やその他の操作で、タッチホイールを使うこともできます（基本編 p.4）。

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 （マイカメラ）メニュー▶メニュー項目

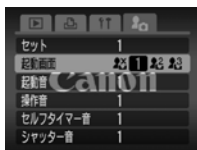
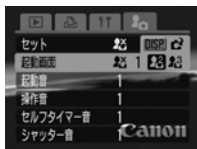
メニュー操作（p.23）

2 設定したいコンテンツを選ぶ

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット]を選びます。

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［2］［3］には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

- マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/Image Browser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 **モードダイヤル（再生）▶（マイカメラ）メニュー▶登録したいメニュー項目**

メニュー操作（p.23）

2 **2または3を選び、DISP.を押す**

3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

●起動画面

◆/◆ボタンで登録したい画像を選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

●起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

●(録音)を選び、FUNC./SETボタンを押します。録音後、(登録)を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
- 再生するときは、▶(再生)を選びます。
- マイカメラメニューに戻るときは、(終了)を選びます。

4 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

●登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能 (p.90) で録音した音声
  - サウンドレコーダー (p.92) で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（基本編 p.10）。
メモリーカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロット/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください（基本編 p.7）。
バッテリーの残量が少なく、動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください（基本編 p.7）。 ●AC アダプターキット ACK-DC30（別売）を使用してください（p.131）。
カメラとバッテリーの接触不良です。	●バッテリーの電極を先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください（p.127）。
カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	●書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p.129）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
内蔵のリチウム充電池の容量がなくなっています。	●ただちに充電してください（基本編 p.9）。

液晶モニター

表示されない	
液晶モニターが非表示の設定になっています。	●DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけてください（p.12）。

撮影中に液晶モニターが消える

で撮影中は、［節電］の［ディスプレイオフ］の設定に応じて節電機能が働きます。電源スイッチとシャッターボタン以外を操作すると液晶モニターが表示されます。

カメラの起動時に画面が黒くなる	
マイカメラ機能の起動画面に、互換性のない画像が設定されています。	●マイカメラ機能で起動画面を変更するか（p.110）、付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って初期設定に戻します。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。

画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が表示された	
太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された	
光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	●手ぶれ補正を [切] 以外に設定してください（p.31）。 ●ISO 感度を上げてください（p.65） ●ISO ブースターを [入] にしてください（p.66） ●ストロボを（発光禁止）以外に設定してください（基本編 p.14） ●セルフタイマーを設定し（基本編 p.16）、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

▲が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定されたメモリーカードです。	●このカメラでそれらの印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください（p.93、p.103）。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p.14）。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
モードダイヤルを▶(再生)に合わせています。	●モードダイヤルを📷(オート)、📷M(マニュアル)、SCN(スペシャルシーン)または🎥(動画)にしてください(基本編 p.11)。
ストロボが充電中です。	●充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます(基本編 p.6)。
メモリーカードの空き容量がありません。	●新しいメモリーカードを入れてください(基本編 p.8)。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	●メモリーカードを初期化してください(p.29)。 ●メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SDメモリーカード、SDHCメモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。	●ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください(p.129)。

ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある	
通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「[手ブレ警告]が表示された」（p.114）でご確認ください。
AF 補助光が [切] になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF 補助光を発光させてください（p.24）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.136）。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AF ロックで撮影してください（p.50）。
明るい場所で、ファンタジーナイトモードを使って撮影しました。	●ファンタジーナイトモードをお使いになるときは、暗い場所で撮影してください（p.38）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを[ストロボ]（常時発光）にしてください（基本編 p.14）。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p.53）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p.51、p.52）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.137）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p.65）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする	
被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.137）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p.53）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p.51、p.52）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p.14）。

画像にノイズがある	
ISO 感度が高すぎます。	●高いISO感度や（高感度オート）を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p.65）。 ●、、、、、、、は、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る	
ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	●［赤目緩和機能］を［入］に設定して撮影してください（p.36）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約 1 秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。 ●赤目で撮影された画像は、［赤目補正］で修正できます（p.85）。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリー カードを物理フォーマットすることをおすすめします（p.29）。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.29）。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください（基本編 p.7）。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

原因	対処
以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影/消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p.29）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した

原因	対処
カメラの内部メモリーが少なくなりました。	●以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする（p.29） - 記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる（p.45） - 高速のメモリーカード（SDC-512MSH など）を使用する

ズームできない

原因	対処
動画撮影中にズームレバーを押しました。	●撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください（基本編 p.14）。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）（p.33）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド (PDF) をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリーカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム(コマ)落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ方式をPAL方式に設定し、(スムーズ)で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	●オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.29）。

バッテリー/バッテリーチャージャー

バッテリーの消耗が早い

バッテリーの性能が十分に発揮されていません。	●バッテリーの取り扱いを、「取り扱い上の注意」（p.127）でご確認ください。
常温（23 ℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p.7）。

バッテリーが充電できない

バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p.7）。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる

お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	●正しいビデオ出力方式（NTSC または PAL）に合わせてください（p.27）。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（基本編 p.12）。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	●指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	●プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	●［ (設定)］メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください（p.27）。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中...

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。または再生モードを起動中です。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、メモリーカードが正しい向きに入っていません（基本編 p.8）。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていない、または正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常がある可能性があります。異常のあるメモリーカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります。ただし、本製品付属のメモリーカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定、サウンドレコーダーや音声メモの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。また、バッテリーの取り扱いは「取り扱い上の注意（p.127）」でご確認ください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のないWAVEです

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

処理できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画にレタッチマイカラーで効果をつけようとしました。または、このカメラ以外で撮影した画像を赤目補正しようとしました。

処理できません

このカメラ以外で撮影した画像をカテゴリー分けしようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、[パソコンの背景]を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

メモリーカードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

バッテリーの取り扱い

バッテリー残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、動作不能です。ただちにバッテリーを交換してください。

取り扱い上の注意

●**バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。**

汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。

●**低温下では、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコン（ ）が早めに表示されることがあります。**

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

●**ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。**

バッテリーがショートするおそれがあります。

●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触（ショート）させないでください（図 A）。持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図 B）。

バッテリーパックの破損の原因となることがあります。
端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます（図 C、D）。

図 A

図 B

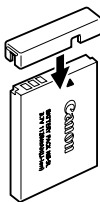



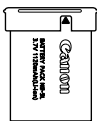
図 C
充電済バッテリー

「▲」が見えるように取り付けます。

図 D
使い切ったバッテリー

図Cの逆に取り付けます。

●バッテリーを使い切ってから、湿度の低い室温（0 ～ 30 ℃）で保管してください。

フル充電の状態で長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

充電する

●このバッテリーはリチウムイオン充電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。

●バッテリーを使い切った状態からフル充電になるまでの時間は、約 2 時間 5 分です。（当社測定基準による）

・5 ～ 40 ℃の範囲で充電することをおすすめします。

・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

●使用する当日または前日に充電してください。

充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

●規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

- この製品には充電式のリチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。

・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。

・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
-「有限責任中間法人　ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人　ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
キヤノンサポートページ
canon.jp/support

メモリーカードの取り扱い

SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて

取り扱い上のご注意

●曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。

●分解したり、改造しないでください。

●端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。

●貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。

●文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。

●下記の場所で使用したり、保管しないでください。

・ほこりや砂ぼこりの立つ場所

・高温多湿の場所

●大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

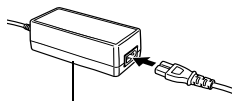
●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

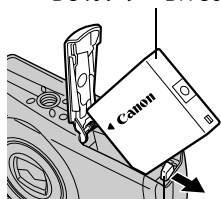
●カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

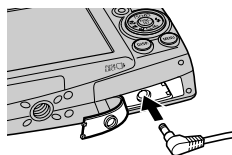
ACアダプターキット（別売）の使いかた

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK-DC30（別売）のご利用をおすすめします。

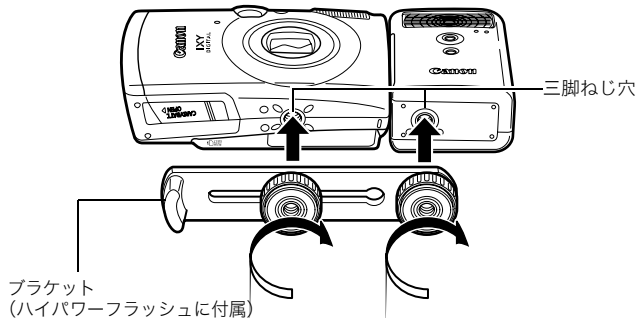
● カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **メモリーカードスロット/バッテリーカバーを開き、バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、DCカプラーがロックされるまで押し込む**

●メモリーカードスロット/バッテリーカバーを元の位置に戻します。

3 **DCカプラー端子カバーを開き、DC端子を接続する**

付録

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p.27）。

- コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

- 世界時計を設定する（p.19）

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

- カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

IXY DIGITAL 810 IS

(W) ワイド端　(T)：テレ端

項目	仕様
カメラ部有効画素数	：約 800 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 830 万画素）
レンズ	：5.8（W）－ 23.2（T）mm (35mm フィルム換算 35（W）－ 140（T）mm) F2.8（W）－ F5.5（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 16 倍）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 23 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス AiAF（顔優先 /9 点）/AF（中央 1 点）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：50cm ～∞ マクロ撮影：2 ～ 50cm（W）/40 ～ 50cm（T） ：遠景撮影：3m ～∞
シャッター	：メカニカルシャッター ・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/1600 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときは、ノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価* / 中央部重点平均 / スポット** * AiAF が［顔優先］のときは、顔の明るさを考慮 ** 測光枠は中央固定
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度 （標準出力感度・ 推奨露光指数）	：オート*、高感度オート*、ISO 80/100/200/400 /800/1600 *オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / マニュアル

内蔵ストロボ	：オート* / 常時発光* / 発光禁止 ＊赤目緩和、FE ロック、スローシンクロ設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影：50cm ～ 3.5m（W）/50cm ～ 2.0m（T）（ISO 感度設定：オート）
撮影モード （静止画）	：オート / マニュアル* / デジタルマクロ** / ワンポイントカラー** / スイッチカラー** / スティッチアシスト** / スペシャルシーン*** ＊長秒時撮影可能 ＊＊マニュアルモードで選択可能 ＊＊＊ポートレート、ナイトスナップ、キッズ＆ペット、パーティー / 室内、ファンタジーナイト、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水族館、水中
（動画）	：スタンダード / スムーズ / ライト / ワンポイントカラー / スイッチカラー / インターバル
連続撮影	：約 1.3 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠*、DPOF 対応 ＊DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）* ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）） ：音声メモ、サウンドレコーダー：WAVE（モノラル） ＊このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル

項目	内容
記録画素数（静止画）	：ラージ　　：3264 ×2448 画素 ：ミドル 1　：2592 ×1944 画素 ：ミドル 2　：2048 ×1536 画素 ：ミドル 3　：1600 ×1200 画素 ：スモール　：　640 ×　480 画素 ：L 判プリント：1600 ×1200 画素 ：ワイド　　：3264 ×1832 画素
記録画素数　（動画）	：スタンダード、ワンポイントカラー、スイッチカラー ：640 × 480 画素（30 フレーム / 秒、15 フレーム / 秒） ：320 × 240 画素（30 フレーム / 秒、15 フレーム / 秒） メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能*（1 回の最大記録容量：4GB **） ：スムーズ ：320 × 240 画素（60 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：1 分 ：ライト ：160 × 120 画素 （15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：3 分 ：インターバル ：640 × 480 画素（1 フレーム / 秒、0.5 フレーム / 秒）（再生時　15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：2 時間 *超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH） **記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
音声	：量子化ビット：16 ビット サンプリングレート 音声メモ、動画（ライト）：11.025kHz 動画（ライト以外）：44.100kHz サウンドレコーダー：11.025kHz/22.050kHz/44.100kHz

再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ マイカテゴリー / ジャンプ（日付 / マイカテゴリー / フォルダ / 動画 /10 枚 / 100 枚。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ スライドショー / 赤目補正 / レタッチマイカラー / 音声メモ（最長1分まで記録/再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）/ サウンドレコーダー（最長 2 時間まで記録 / 再生が可能）
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B） 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：バッテリーパック NB-5L（専用リチウムイオン充電池） ：AC アダプターキット ACK-DC30
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ（突起部を除く）	：90.4 × 56.5 × 26.4mm
質量（本体のみ）	：約 165g

バッテリー性能（バッテリーパック NB-5L（フル充電））

撮影画像数		再生時間
液晶モニター表示時（CIPA測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
約230画像	約700画像	約6時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。
・キヤノンブランドのメモリーカードを使用
*バッテリーの温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）の環境において、1画像あたり3秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱いについて（p.127）

メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□ ：付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）3264 × 2448 画素	S	8	35	139
	F	14	59	231
	N	29	123	479
M1（ミドル 1）2592 × 1944 画素	S	11	49	190
	F	20	87	339
	N	41	173	671
M2（ミドル 2）2048 × 1536 画素	S	18	76	295
	F	32	136	529
	N	64	269	1041
M3（ミドル 3）1600 × 1200 画素	S	29	121	471
	F	52	217	839
	N	99	411	1590
S（スモール）640 × 480 画素	S	111	460	1777
	F	171	711	2747
	N	270	1118	4317
（L 判プリント）1600 × 1200 画素	F	52	217	839
W（ワイド）3264 × 1832 画素	S	11	47	183
	F	18	79	307
	N	39	166	642

・ ：スムーズ連写（p.37）できます。（物理フォーマット時）
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

■動画

□：付属のメモリーカード

記録画素数		フレームレート	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 640 × 480 画素	30	14 秒	1 分 1 秒	3 分 57 秒
		15	27 秒	1 分 56 秒	7 分 30 秒
	320 320 × 240 画素	30	38 秒	2 分 42 秒	10 分 29 秒
		15	1 分 7 秒	4 分 39 秒	17 分 58 秒
スムーズ	320 320 × 240 画素	60	20 秒	1 分 27 秒	5 分 39 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15	3 分 9 秒	13 分 2 秒	50 分 21 秒
インターバル	640 640 × 480 画素	1" *	7 分 30 秒	31 分 45 秒	2 時間 3 分 30 秒
		2" **	15 分	1 時間 3 分 30 秒	4 時間 7 分

*1フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）　** 0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）

- 動画の1回の最長記録時間は、:1分、:3分、:2時間です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。
- は15フレーム/秒で再生されるため、記録可能時間と再生時間は異なります。

サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）

□：付属のメモリーカード

	音声サイズ	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
11.025kHz	22KB/ 秒	23 分 28 秒	1 時間 36 分 59 秒	6 時間 14 分 16 秒
22.050kHz	44KB/ 秒	11 分 44 秒	48 分 30 秒	3 時間 7 分 8 秒
44.100kHz	88KB/ 秒	5 分 52 秒	24 分 15 秒	1 時間 33 分 34 秒

1 画像の容量（目安）

記録画素数	圧縮率		
	S	F	N
L 3264 × 2448 画素	3436KB	2060KB	980KB
M1 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2 2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3 1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S 640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
1600 × 1200 画素	−	558KB	−
W 3264 × 1832 画素	2601KB	1540KB	736KB

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 640 × 480 画素	30	1963KB/ 秒
		15	1003KB/ 秒
	320 320 × 240 画素	30	703KB/ 秒
		15	373KB/ 秒
スムーズ	320 320 × 240 画素	60	1363KB/ 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15	131KB/ 秒
インターバル	640 640 × 480 画素	1" *	64KB/ 秒
		2" **	32KB/ 秒

＊1フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）　＊＊ 0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）

SD メモリーカード

インターフェース	：SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×2.1mm
質量	：約2g

マルチメディアカード

インターフェース	：マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×1.4mm
質量	：約1.5g

バッテリーパック NB-5L

形式	：リチウムイオン充電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：1120mAh
充放電	：約300回
使用温度	：0～40℃
大きさ	：32.0×44.9×7.9mm
質量	：約25g

バッテリーチャージャー CB-2LX

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 0.085A（100V）～0.05A（240V）
定格出力	：DC 4.2V、0.7A
充電時間	：約2時間5分
使用温度	：0～40℃
大きさ	：57.5×81.6×21.0mm
質量	：約65g

コンパクトパワーアダプター CA-DC10

（別売の AC アダプターキット ACK-DC30 に付属）

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz）
定格出力	：DC 4.3V、1.5A
使用温度	：0～40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量（電源コードを除く）	：約180g

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- **バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス**
- **オンラインアルバムサービス**
- **携帯電話アルバム通知・閲覧サービス**
- **ホームプリンティングサービス**
- **プリント注文サービス（有料）**
- **オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）**
- **マイカメラコンテンツのダウンロード**

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

* インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
* プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

記号 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。

機能 ＼ 撮影モード									参照ページ
			M				SCN		
記録画素数	ラージ	●	●	●	●	▲	●	−	p.30
	ミドル1	○	○	○	○	△	○	−	
	ミドル2	○	○	○	○	△	○	−	
	ミドル3	○	○	○	○	△	○	−	
	スモール	○	○	○	○	△	○	−	
	L判プリント	○	○	−	○	−	○	−	
	ワイド	○	○	−	○	−	○	−	
	動画	−	−	−	−	−	−	○[1]	p.45
圧縮率	スーパーファイン	○	○	○	○	△	○	−	p.30
	ファイン	●	●	●	●	▲	●	−	
	ノーマル	○	○	○	○	△	○	−	
フレームレート		−	−	−	−	−	−	○[1]	p.45
ストロボ	オート	●	○[2]	−	○	−	○[3][4]	−	基本編 p.14
	常時発光	−	○	−	○	△	○[3][5]	−	
	発光禁止	○	●	●	●	▲	○[3]	−	
スローシンクロ		−	○[2]	−	−	△	−[6]	−	p.36
赤目緩和機能		○	○	−	○	△	○[5]	−	p.36
マクロ撮影		○	○	○[10]	○	△	○[7]	○	基本編 p.15
遠景撮影		−	○	−	○	△	○[7]	○	
AFロック		−	○	○	−	−	−	○[8]	p.50
AEロック		−	○[2]	○	−	−	−	○[8]	p.51
FEロック		−	○[2]	−	−	−	−	−	p.52
撮影方法	1画像撮影	●	●	●	●	●	●	●	−
	連続撮影	−	○	○	−	−	○	−	p.37
	セルフタイマー10秒	○	○	○	○	○	○	○	基本編 p.16
	セルフタイマー2秒	○	○	○	○	○	○	○	
	カスタムセルフ	○	○	○	−	−	○	−	
AF方式の選択		○	○	○	○	−	○[5]	−	p.48
AF補助光		○	○	○	○	△	○[5][9]	○	p.24
デジタルズーム		○	○	○[10]	−	−	○	○[11]	p.33
デジタルテレコン		○	○	−	−	−	○	−	p.34

撮影モード / 機能			M				SCN		参照ページ
			M		A / S				
測光方式	評価測光	○	●	●	○	○	○	○	p.52
	中央部重点平均測光	−	○[2)]	○	−	−	−	−	
	スポット測光	−	○[2)]	○	−	−	−	−	
露出補正		−	○[2)]	○	−	△	○[12)]	−	p.53
露出シフト		−	−	−	−	−	−	○[8)]	p.45
長秒時撮影		−	○	−	−	−	−	−	p.54
ホワイトバランス		−[13)]	○	○	−[13)]	△	−[13)]	○[8)]	p.55
マイカラー		−	○	○	−	△	−	○[8)]	p.58
オリジナル保存		−	−	−	○	−	−	−	p.64
ISO感度		○[14)]	○[15)]	○	−[13)]	−[13)]	−[13)]	−[13)]	p.65
ISOブースター[16)]		○	○[2)]	○	−	−	−	−	p.66
縦横自動回転		○	○	○	○	△	○	○	p.69
自動カテゴリー		○	○	○	○	−	○	−	p.24
撮影ガイド		○	○	○	○	−	○	○[17)]	p.41
手ぶれ補正		○	○	○	○	△	○[18)]	○[19)]	p.31
ボタン機能登録		○	○	○	○	○	○	○	p.67

○：設定可（●：初期設定）　△：最初の1画像のみ設定可（▲：初期設定）

・　　　：電源を切っても解除されません。

1）（動画）の記録画素数とフレームレートについて（p.46）

2）長秒時撮影では選択できません。

3）ストロボの初期設定は以下のとおりです。

・：オート　・：常時発光　・：発光禁止

4）では設定できません。　5）では設定できません。

6）では、［入］に設定されます（［切］は設定できません。）

7）では、マクロ / 遠景撮影の切り換えができません。

8）では設定できません。

9）では、ストロボが［常時発光］のときのみ設定できます。

10)［切］は選択できません。　11)のみ設定、操作ができます。

12)では設定できません。　13)カメラが自動的に設定します。

14)のみ設定できます。

15)長秒時撮影では、の選択はできません。

16)では、お使いになれません。

17)［グリッドライン］のみ設定できます。

18)では、［撮影時］に固定されます。

19)［撮影時］、［流し撮り］は選択できません。